

**令和3年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和3年12月  
海老名市立有鹿小学校**

令和3年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

### (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

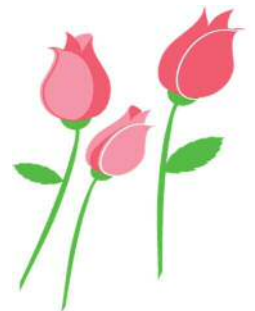
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

## 調査実施日

令和3年5月27日(木)



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的にできている点

○偉人の業績を伝えるスピーチに関する問題や面ファスナーについて説明された文章の問題では、文の構成を捉えることがよくできていました。また、資料を用いた理由についてもよく理解できていました。

- ・スピーチの「はじめ」「中」「終わり」で何を伝えているかを選択肢から選ぶ
- ・説明文が面ファスナーの何について書かれているか、どのように書かれているかを選択肢から選ぶ
- ・スピーチの際に画面に映し出した資料がどのような目的で使われたのかを選択肢から選ぶ

### ◆課題のある点

○自分の考えを学級の友達に主張する文章を書く問題や、面ファスナーについて説明された文章の問題で、条件に合わせた文章を書くということに課題が見られました。

- ・「反対する意見とその理由」を書く
- ・「ヒントと仕組み」が分かるように書く
- ・60字以上、100字以内で書く

○次の漢字を書く問題では、正答率が全国に比べ低く、無解答率も高かったことから、漢字の習熟に課題があることが分かりました。

- ・積み重ね、原因

## 今後の具体的な指導改善のポイント

「複数の条件に合わせた文章を書く力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
言葉の続き方を意識して内容のまとまりが分かるように文章を書く学習を取り入れていきます。	自分の考えを理由や事例と合わせて文章を書く学習を取り入れていきます。	目的や意図に応じて、事実、感想、意見を区別して文章を書く学習を取り入れていきます。
○意味が分かるように言葉や文の続き方を考えて書く。	○「なぜなら」などの理由を示す表現を使って書く。	○目的や意図に応じて構成を工夫して書く。
○時間や出来事の順序を表す言葉を使って書く。	○考えをより具体的に説明するために事例を挙げて書く。	○事実と感想、意見とを区別した構成を考えて書く。
どの学年においても「分量を多く書く」学習だけでなく、「文字数など分量を制限して分かりやすく書く」学習を取り入れていきます。		

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 三角形や四角形などの図形の面積を求める問題では、次のような設問によく答えることができていました。

・二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を式や言葉を使って説明する

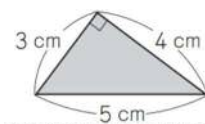
- 道のりと時間から速さを求める問題では、次のような設問によく答えることができていました。

・1600mを20分で歩く速さと、500mを7分で歩く速さのどちらが速いかを除法の式を見て選択肢から選ぶ

### ◆課題のある点

- 三角形の面積を求める問題では、次のような直角三角形の面積を求める設問において課題が見られました。

・右の直角三角形の面積を求める式と答えを書く



- 文章から除法の式を表す問題では、「割る数」と「割られる数」の捉え方が逆になる児童が多く、数量の関係を正しくとらえることに課題が見られました。

・8人に4Lのジュースを等しく分けるとき、1人が何Lかを求める式と答えを書く

## 今後の具体的な指導改善のポイント

「図形を正確に捉え、公式を正しく使う力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
<p>図形を構成する要素について考える学習を取り入れていきます。</p> <p>○身近にある様々な形に直接触れながら、理解の基礎となる感覚を豊かにする。</p> <p>○辺、面、角の数に着目し、それぞれの図形の性質を正しく理解する。</p>	<p>図形を構成する要素の関係について考える学習を取り入れていきます。</p> <p>○2つの辺の長さ、2つの角の大きさなどの関係を図形の性質に合わせて理解する。</p> <p>○垂直、平行といった位置関係を図形の性質に合わせて理解する。</p>	<p>図形を構成する要素に着目して、公式を使う学習を取り入れていきます。</p> <p>○図形の底辺や高さの関係の理解を確実にする。</p> <p>○面積を求めるために必要な情報を選び出し、学習した公式を正しく活用する。</p>

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

○「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」

#### 【結果】

「ほぼ毎日」「週1回以上」と回答した児童が多く、全国平均と比べてかなり高い結果となりました。

#### 【分かること】

学校の特色ある取組の1つとして「ICT活用」を取り入れ、積極的に学習の中でICT機器に触れてきたことが、児童に定着しています。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」

#### 【結果】

「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童が少なく、「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した児童が全国平均と比べて多い結果となりました。

#### 【分かること】

総合的な学習の時間の学習過程を改善する必要があります。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

○「将来の夢や目標を持っている」

#### 【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、高い結果となりました。

#### 【分かること】

将来の夢や目標を持っている児童が多く、前向きに生活していることが伺えます。「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童には目標が持てるように支援していく必要があります。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」

#### 【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べかなり低い結果となりました。

#### 【分かること】

自分で決めたことを最後まで取り組むことに苦手意識を持つ児童が多いことが分かりました。やり遂げることができるように、取り組んでいる様子を見守ったり、励ましたりしながら支援していく必要があります。

## 今後の具体的な取組について

「自分でやると決めたことを最後までやり遂げる力」を伸ばすために、次のように取り組めます。

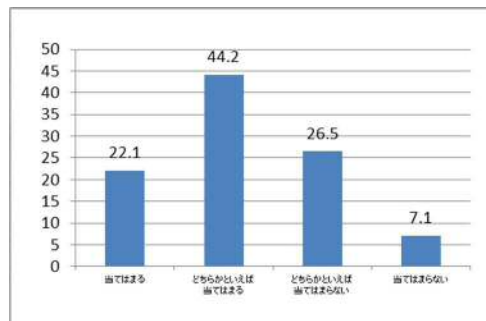
低学年	中学年	高学年
毎日の活動で目標の設定と振り返りを取り入れていきます。	毎月の活動で目標の設定と振り返りを取り入れていきます。	振り返ったことを生かし、工夫する機会を取り入れていきます。
○毎日の生活や係活動等において、自分で目標を決めたり振り返ったりして、達成感を感じる機会を増やす。	○自分たちで決めた生活目標等に対して振り返ったり、子ども同士で取組状況を認め合ったりする機会を増やす。	○学校行事や委員会活動等に対して振り返ったことを次の行事や活動に生かし、工夫しながら取り組む機会を増やす。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 自分の気持ちや考えを伝える機会を増やしましょう

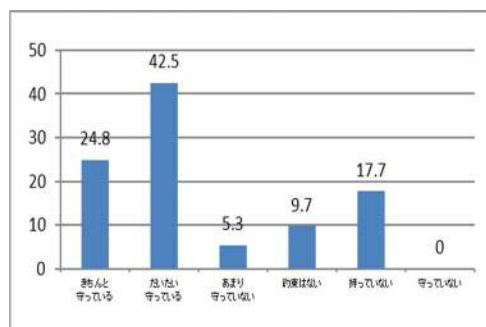
自分の言葉で気持ちや考えを伝えられるようになると、感情のコントロールができるようになったり、人とのコミュニケーションが取りやすくなったりします。



自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか

## 2 スマートフォンやゲームの使い方の約束をきちんと守る習慣をつけましょう

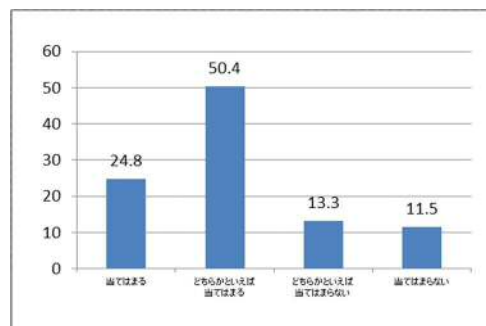
ルールをしっかりと守りながらスマートフォンやゲームと付き合っていくことはこれからの人生においてとても大切なこととなります。約束をお子さんと一緒に考えることも効果的です。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

## 3 お子さんのよいところを褒めましょう

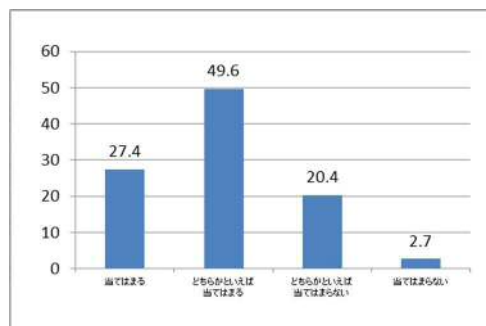
具体的に褒めたり、結果だけでなく過程を褒めたり、失敗した時でもできていたところを褒めたり、過去と比較して褒めたりすることで、自己肯定感が高まり、チャレンジ精神や自主性が育ちます。



自分には、よいところがあると思いますか

## 4 自分で決めて、最後まで取り組む習慣をつけましょう

「できた！」という喜びを数多く経験することでやり遂げる力が育れます。やり遂げた際の達成感を味わうことで、失敗しても再度挑戦しようとする態度につながります。



自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

## 資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

### 【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

### 【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

## 結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

